

右京区制90周年記念

右京90年のあゆみを紹介

～「90年」を感じる区内めぐり紙上ツアーへようこそ～

昭和6(1931)年4月

右京区誕生

最初の区役所は、右京簡易裁判所のあたりにありました

右京区は、昭和6(1931)年4月1日の、京都府葛野郡1町9村の京都市編入によって誕生しました。
区役所庁舎は太秦村役場跡(現在の特別養護老人ホームうすまさ共生の郷付近)に建設されることとなりました。しかし、工事は編入後に開始されるため、右京区発足から翌年7月の新庁舎の完成までの間、仮庁舎が置かれていました。それが、大正時代まで葛野郡役所が置かれていた場所、今の右京簡易裁判所のあたりです。右京区90年の歴史はここから始まります。

昭和26(1951)年

東映京都撮影所

右京区は映画のまち!

かつて東洋のハリウッドと呼ばれた太秦地域。日本映画黎明期の大スター阪東妻三郎が大正15(1926)年に開設した「阪東妻三郎プロダクション太秦撮影所」がその始まりです。この撮影所は様々な変遷を経て、昭和26(1951)年に設立された東映の撮影所となり現在に至ります。また、昭和10(1935)年、日本映画の父と呼ばれる牧野省三氏の息子、マキノ雅弘氏によって「マキノトーキー製作所」が設立された場所に、現在の松竹京都撮影所があります。現存する日本の映画撮影所6カ所のうち2カ所が右京区太秦にあるということは、ここがまだまだ日本の映画文化の中心的役割を担っていることの証です。

昭和27(1952)年

松竹京都撮影所